

2015

私たちの村の予算

～村民との協働のむらづくりを目指して～



予算のあらまし

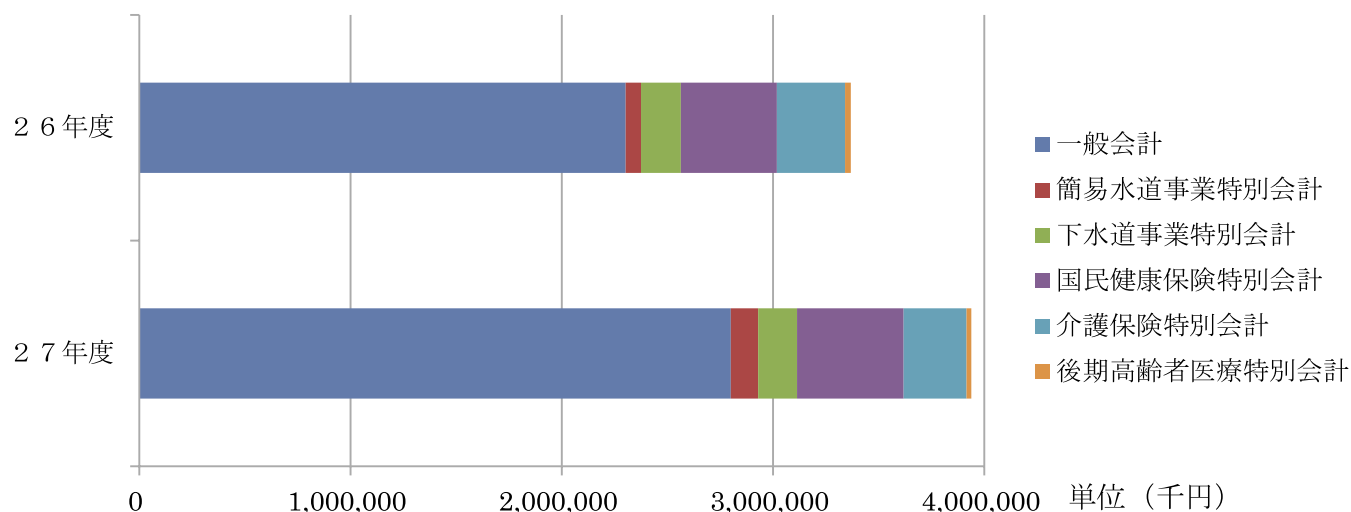
平成27年度佐井村当初予算（一般会計と特別会計）は前年度に比べ5億7,175万4千円の増額となる39億3,919万5千円になりました。

うち、一般会計は4億9,900万8千円の増額で、主な事業としては佐井中学校屋内運動場改修事業（約2億円）、村道糠森大沢線整備事業（約5千4百万円）、水産振興基金貸付金（約2億5千万円）、簡易水道事業の増による繰出金（建設改良費分約5千万円）などがあります。

前年度の当初予算に続き、支出に対し収入が足りないため、財政調整基金から8,297万2千円を取り崩します。

これからも、健全な財政運営に取り組んで参りますので、村民の皆さんのご支援、ご協力をお願い致します。

予算総額 39億3,919万5千円（+5億7,175万4千円、17.0%増）



区分	平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減額
一般会計	28億 72万 2千円	23億 0,171万 4千円	+4億 9,900万 8千円
特別会計	11億 3,847万 3千円	10億 6,572万 7千円	+7,274万 6千円
特別会計の内訳			
簡易水道事業特別会計	1億 2,805万 3千円	7,296万 0千円	+5,509万 3千円
下水道事業特別会計	1億 8,614万 0千円	1億 8,864万 9千円	△250万 9千円
国民健康保険特別会計	5億 431万 9千円	4億 5,577万 3千円	+4,854万 6千円
介護保険特別会計	2億 9,647万 0千円	3億 2,096万 7千円	△2,449万 7千円
後期高齢者医療特別会計	2,349万 1千円	2,737万 8千円	△388万 7千円

※「一般会計」は、福祉や教育などの基本的な行政サービスを行うための会計です。一方、「特別会計」は、介護保険や国民健康保険などの特定の事業を行うための会計で、法律や条例に基づいて設置しています。

歳入

依存財源



- 交付金など (1.4%)
3,865 万 1 千円
国に治めた税金の一部が一定のルールで交付されます。
- 村債 (3.2%)
8,870 万円
建設工事など金額の大きな事業を行うときに借入します。
- 国・県支出金 (24.1%)
6 億 7,668 万円
地域活性化交付金や福祉関係に伴う補助金などです。
- 地方交付税 (47.7%)
13 億 3,576 万 2 千円
標準的な村の財政規模を定め、不足するお金が国から交付されます。

自主財源

- 使用料及び手数料など (1.3%)
3,620 万 2 千円
ごみ処理手数料や村有財産の使用料などです。
- 諸収入 (2.4%)
6,729 万円
- 村税 (5.6%)
1 億 5,814 万 2 千円
村民税や固定資産税などです。
- 繰入金 (14.3%)
3 億 9,929 万 5 千円
不足するお金を基金 (貯金) で補います。

歳出



- その他 (12.4%)
3 億 4,692 万 9 千円
議会費、商工費、土木費、労働費、災害復旧費などです。
- 公債費 (10.3%)
2 億 8,844 万 3 千円
村債 (= 借金) の返済です。
- 教育費 (5.3%)
1 億 2,535 万円
各小中学校の管理、奨学金貸付金などです。
- 消防費 (7.6%)
1 億 8,253 万円
広域事務組合への負担金などです。
- 農林水産業費 (10.8%)
2 億 5,274 万円
漁港整備、各種漁業振興費などです。
- 衛生費 (16.3%)
3 億 8,933 万円
ごみ処理、健康づくり、下水道事業繰出金などです。
- 民生費 (16.5%)
3 億 9,261 万円
福祉事業、保育所運営などです。
- 総務費 (20.2%)
4 億 8,488 万円
人件費、庁舎管理、電算処理費などです。

議会費 5,354 万 2 千円（+184 万円）

村議会運営費 5,034 万円 議会だよりの発行、議員の報酬手当などです。

総務費 4 億 4,952 万 9 千円（+7,169 万 8 千円）

公用車整備事業 3,916 万 8 千円

各地区集会施設の指定管理委託 164 万 1 千円

地域情報通信事業 1,175 万 3 千円

津軽海峡文化館（アルサス）指定管理委託
1,966 万 4 千円

県議会議員選挙業務 406 万 6 千円

津軽海峡文化館（アルサス）及び
役場庁舎のトイレ改修工事
493 万 2 千円

村議会議員選挙業務 208 万 9 千円

福祉・過疎地有償運送事業運営費補助金
472 万 2 千円

県知事選挙業務 476 万 1 千円

重点戦略プロジェクト:「あおい環」経済戦略ビジョン

あおい環プロジェクト事業

1,165 万 9 千円

弁天わかめオーナー制度や、平成 25 年度から住民となったゆるキャラ「雲丹〜うんたん〜」や、地域おこし協力隊の活動により地域の活性化を図ります。

佐井村「新しい販路」開拓事業

214 万 6 千円

従来のありふれた販売方法（ネット・道の駅・産直施設・デパ地下など）ではなく、家電製品メーカーとのコラボ企画などを展開し新たな販路や新商品の販売戦略を進めます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

276 万 2 千円

人口減少問題と地域活性化（地域創生）対策に取り組むため、人口動向や経済構造等の分析結果を踏まえ地方版総合戦略を作成します。

長崎大学水産学部交流連携事業

144 万 3 千円

同大水産学部の有するノウハウを取得し、村の水産振興を期する交流連携事業を展開します。

民生費 3億5,905万1千円（△384万6千円）

臨時福祉給付金事業

498万6千円

所得の低い方々へ増税の影響を緩和するために臨時にお金を支給する予定です。

高齢者生活福祉センター管理運営事業

1,083万9千円

指定管理者制度の導入により「あすなろ」の管理運営を社会福祉協議会へ委託しています。

社会福祉協議会法人が行う事業

2,117万8千円

法人運営のための事務的な経費を補助します。

高齢者生活福祉センター改修事業

2,663万3千円

自立支援給付介護給付事業

5,428万8千円

後期高齢者医療特別会計繰出金

1,229万1千円

保育所運営事業

3,898万5千円

介護保険特別会計繰出金

4,354万3千円

衛生費 4億8,720万5千円（+3,440万5千円）

患者送迎バス運行事業

1,123万4千円

大間病院および、川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。

国民健康保険特別会計繰出金

2,856万8千円

簡易水道、下水道事業特別会計繰出金

2億690万4千円

一般廃棄物処理費一部事務組合負担金

7,948万9千円

一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する経費です。

健康マイレージ事業

43万9千円

し尿処理費一部事務組合負担金

3,674万円

共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。



農林水産業費 3億3,612万2千円（+2億6,518万7千円）

有害鳥獣被害対策事業（サル、クマ関係）

1,332万8千円

農作物の被害防止のために、鳥獣被害対策実施隊やモンキードッグを活用して、サルの追払いや電気柵の設置を行います。また、ニホンザル保護管理専門員を育成します。

森林環境保全整備事業

388万8千円

造林補助金を活用して、分収造林の整備を図るほか、平成25・26年度の人工造林の下刈り作業を行います。

水産振興基金事業補助金

2,370万円

佐井村漁協が行う、各種水産振興事業に対して補助を行います。

中山間地域総合整備事業

365万2千円

下北北部地区にまたがる広域的な地域を対象とした農業施設整備事業に取り組むための、現地調査に要する経費です。

信漁連借入金繰上償還資金貸付金

（水産振興基金） 1億5,000万円

漁協経営資金貸付金（水産振興基金）

1億円

商工費 4,014万1千円（+76万1千円）

観光モデルコース周遊モニター業務委託料

137万8千円

佐井村商工会補助金

240万円

下北観光協議会事業

（プラットフォーム設立事業等）

333万5千円

願掛公園野営場改修事業

270万1千円

町村の魅力発信事業

（佐井村うまいもん祭り、交通ターミナル内情報発信）

272万4千円



昨年度の佐井村うまいもん祭りの様子
（青森市 アップルパレス青森）

土木費 1億564万4千円（+5,301万円）

橋梁長寿命化改修事業

1,972万7千円

現在使用している橋梁補修費のコスト縮減と、橋梁の延命化を図るため、改修工事を実施します。

仏ヶ浦駐車帯管理業務

53万1千円

住宅管理業務

20万1千円

急傾斜地対策負担金（矢越地区）

400万円

村道糠森大沢線整備事業

5,445万7千円

電源立地促進対策費（県補助金）を活用し矢越地区に村道を新設します。

除排雪業務

670万9千円



仏ヶ浦港湾改修事業

625万円

港湾改修事業として、防波堤の整備が進められており、県営事業費 5,000 万円の 12.5%を負担し実施します。

道路維持業務

212万9千円

消防費 2億1,641万7千円（+1,417万5千円）

広域事務組合常備消防へ

1億8,614万9千円

市町村共同で行っている消防分署の費用負担です。負担金には、職員の人件費が含まれています。

災害対策事業

223万1千円

広域事務組合非常備消防へ

2,175万5千円

佐井村消防団のための費用を負担します。

消防施設整備事業

213万3千円

防災訓練費

36万8千円

教育費 3億1,702万6千円（+8,746万9千円）

外国語指導助手（ALT）活動事業

384万9千円

小学校高学年および中学生の英語力向上のために、ALTを配置します。

奨学資金貸付事業

646万5千円

就学に係る経費の軽減を図るため、奨学金の貸付を行います。現在の貸付金の原資は、これまで奨学生の返還金によって賄われています。

学習支援推進事業

238万6千円

村で学習支援員を雇用し、きめ細かく質の高い学習指導により、個性豊かな人材形成と学力の定着を図ります。

三上剛太郎生誕祭関連事業

167万1千円

赤十字思想普及のため、県内の児童生徒を対象に標語を募集し、標柱を制作します。標語作品の表彰と合わせ記念式典を開催する予定です。

佐井中学校屋内運動場改修事業

2億295万9千円

核燃料リサイクル施設交付金（県補助金）を活用し改修工事を行います。



管内小中学校職員用パソコンリース代

310万2千円

教師用指導書購入

265万1千円

4年毎に行われる小学校教科書改訂に伴い、教師用指導書などを購入します。

スポーツ団体への補助

154万9千円

放課後子どもプラン事業

155万円

公民館活動業務

94万2千円

各種地区公民館活動や婦人会活動の他、成人式を開催します。

海峡ミュージアム運営事業

101万1千円

三上剛太郎生家管理運営事業

114万円

赤十字活動普及啓発事業

50万6千円

各種大会派遣費の助成

86万5千円

小中学生の各種大会参加派遣費の助成を行います。

学習支援活動推進事業費

24万7千円

学習支援や校外学習の補助・登下校時の安全指導などを行います。

簡易水道事業特別会計

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めていきます。

歳入

■水道使用料等	4,331万円
■一般会計からの繰入金	8,474万3千円

歳出

■施設の維持管理費等	2,181万1千円
■施設の改良事業費	5,187万7千円
■借入金の返済（公債費）	4,779万5千円

下水道事業特別会計

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いのある快適な生活を創造するため、下水道施設（5施設）の維持管理に努めていきます。

歳入

■下水道使用料等	1,277万8千円
■一般会計からの繰入金	1億2,216万1千円
■借入金（村債）	5,120万円
■その他	1千円

歳出

■施設の維持管理費等	4,622万4千円
■借入金の返済（公債費）	1億3,951万6千円
■その他	40万円

加入状況（平成27年3月末見込）

■牛滝地区漁業集落排水処理事業	
→平成9年供用開始	加入率 95.5%
■福浦地区漁業集落排水処理事業	
→平成13年供用開始	加入率 90.1%
■長後地区漁業集落排水処理事業	
→平成14年供用開始	加入率 55.1%
■磯谷地区漁業集落排水処理事業	
→平成17年供用開始	加入率 45.6%
■佐井地区特定環境保全公共下水道事業	
→平成21年供用開始	加入率 27.7%

【下水道接続（加入）のお願い】

下水道は浄化した水を放流するため、海や川の自然環境を守るとともに、側溝や水路などを衛生的に維持できることから、下水道の接続及び汲み取り便所の改造による水洗化をすみやかに実施されるようお願いいたします。

水洗便所改修に係る補助として、平成25～29年度までの下水道接続補助金（1件につき5万円）をご活用ください。

国民健康保険特別会計

病気やけがの時に必要な保険給付などを通して、皆さんの健康を支える制度です。

歳入

■国民健康保険税	8,174万5千円
■国や県などからの補助金	3億9,391万4千円
■一般会計からの繰入金	2,856万9千円
■その他	9万1千円

歳出

■保険給付費	2億8,789万4千円
■後期高齢者支援金等	5,602万円
■保険事業費	662万8千円
■介護納付金	2,912万4千円
■共同事業拠出金	1億1,382万9千円
■その他	1,082万4千円

介護保険特別会計

40歳以上の方が被保険者となって保険料を納め、介護が必要となったときは、介護予防サービスや介護サービスを利用できるように保険給付などを行うものです。

歳入

■保険料	4,084万2千円
■国や県からの補助金	2億886万7千円
■一般会計からの繰入金	4,550万1千円
■その他	126万円

歳出

■保険給付費	2億8,100万4千円
■地域支援事業費	658万7千円
■その他	887万9千円

後期高齢者医療特別会計

高齢化にともなう医療費の増大が見込まれる中で、高齢者世代と若年世代の負担の明確などを図る観点から、75歳以上の高齢者などを対象とした医療制度です。

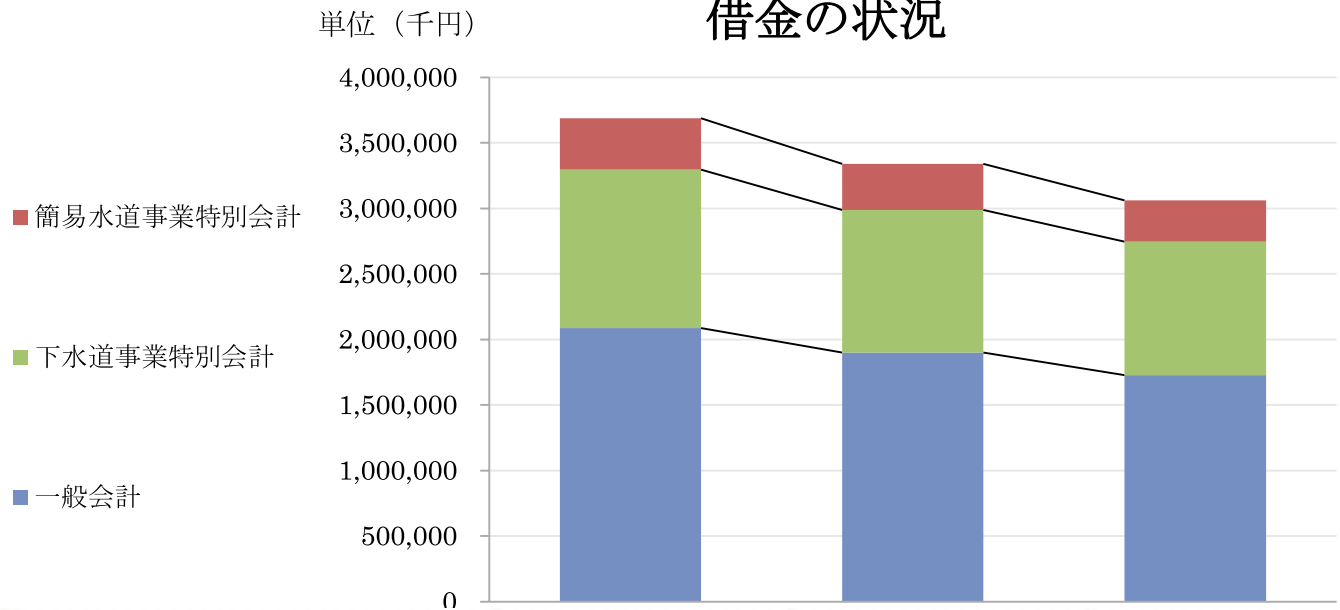
歳入

■保険料	1,049万6千円
■一般会計からの繰入金	1,229万1千円
■その他	70万4千円

歳出

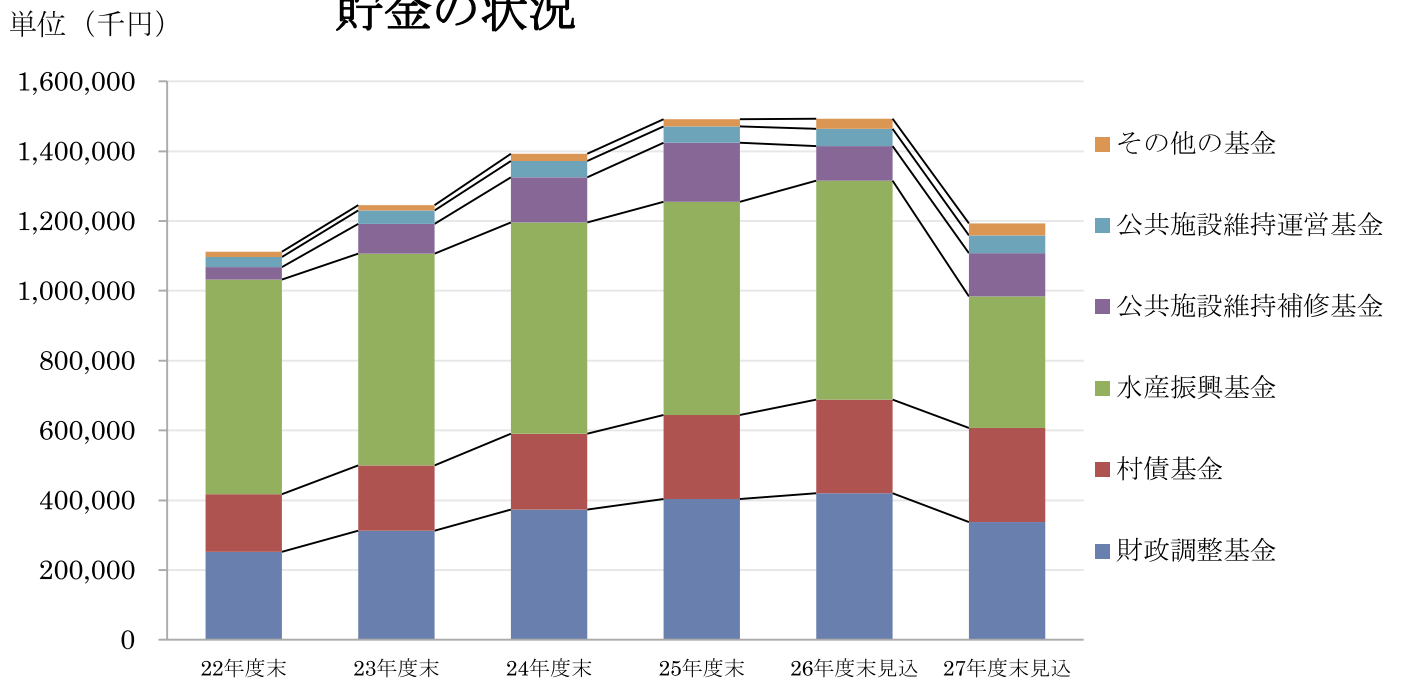
■広域連合納付金	2,197万1千円
■その他	152万円

借金の状況



会計名	25年度末 現在高	26年度末 現在高見込額	27年度末 現在高見込額
簡易水道事業特別会計	391,118	354,087	316,113
下水道事業特別会計	1,211,185	1,088,581	1,018,334
一般会計	2,084,860	1,897,634	1,726,948
合計	3,687,163	3,340,302	3,061,395

貯金の状況



基金名	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末見込	27年度末見込
財政調整基金	252,909	313,169	373,435	403,435	419,850	337,649
村債基金	164,609	186,590	216,886	240,975	268,726	269,263
水産振興基金	614,981	606,500	604,996	611,354	626,406	377,406
公共施設維持補修基金	35,718	85,238	129,739	168,358	99,467	122,902
公共施設維持運営基金	28,567	38,307	47,490	46,646	49,847	51,857
その他の基金	15,594	15,565	19,904	21,255	28,464	33,436
合計	1,112,378	1,245,369	1,392,450	1,492,023	1,492,760	1,192,513

私たちの村の予算 県内40市町村中のデータ・ランキング (平成25年度)

順位	市町村名	財政力指数	前年度順位	市町村名	実質公債費比率	前年度順位	市町村名	経常収支比率	前年度順位
1	六ヶ所村	1.576	1	六ヶ所村	5.3	1	六ヶ所村	72.0	6
2	東通村	0.928	2	横浜町	7.5	3	新郷村	77.2	2
3	八戸市	0.644	3	野辺地町	7.7	2	平内町	78.4	1
4	青森市	0.532	4	蓬田村	7.8	4	蓬田村	79.4	4
5	弘前市	0.456	6	七戸町	9.9	6	板柳町	81.9	10
6	三沢市	0.452	5	弘前市	10.1	5	東通村	82.2	5
7	おいらせ町	0.437	7	新郷村	11.4	23	南部町	82.2	9
8	十和田市	0.389	8	平内町	11.5	7	五戸町	82.7	7
9	むつ市	0.374	9	田子町	11.9	8	横浜町	83.6	18
10	野辺地町	0.366	10	大間町	12.3	10	つがる市	83.7	11
11	六戸町	0.320	14	東北町	12.5	9	西目屋村	84.0	3
12	黒石市	0.319	11	西目屋村	12.6	16	東北町	84.0	14
13	五所川原市	0.319	12	十和田市	12.7	12	藤崎町	84.8	8
14	階上町	0.314	13	板柳町	13.1	18	大鰐町	85.7	19
15	七戸町	0.309	15	六戸町	13.3	26	六戸町	86.0	17
16	東北町	0.272	16	南部町	13.3	25	三戸町	86.1	16
17	大間町	0.266	17	鶴田町	13.5	21	平川市	86.8	12
18	五戸町	0.266	19	青森市	13.6	11	田子町	86.8	24
19	平川市	0.260	20	三沢市	13.6	19	佐井村	87.5	13
20	藤崎町	0.260	18	おいらせ町	13.7	17	八戸市	88.0	23
21	南部町	0.256	21	外ヶ浜町	13.8	13	田舎館村	88.2	20
22	田舎館村	0.249	22	中泊町	13.8	20	十和田市	88.3	21
23	板柳町	0.242	23	階上町	13.9	14	深浦町	88.9	15
24	三戸町	0.237	24	八戸市	14.2	27	風間浦村	89.0	22
25	つがる市	0.228	25	藤崎町	14.3	28	中泊町	89.6	28
26	鶴田町	0.227	26	つがる市	14.5	29	青森市	90.0	27
27	平内町	0.214	27	平川市	14.7	15	三沢市	90.5	26
28	横浜町	0.209	28	佐井村	15.2	22	七戸町	91.2	29
29	大鰐町	0.206	29	深浦町	15.3	30	おいらせ町	91.2	25
30	中泊町	0.191	30	三戸町	15.3	32	野辺地町	93.5	33
31	鱒ヶ沢町	0.179	31	風間浦村	15.5	24	今別町	93.6	40
32	田子町	0.178	32	五所川原市	15.6	31	弘前市	93.9	32
33	外ヶ浜町	0.175	33	五戸町	16.1	34	鶴田町	94.6	34
34	蓬田村	0.155	35	むつ市	17.8	35	外ヶ浜町	95.1	31
35	深浦町	0.149	36	田舎館村	19.0	36	鱒ヶ沢町	95.2	36
36	今別町	0.146	34	今別町	19.6	33	階上町	95.2	30
37	新郷村	0.120	37	鱒ヶ沢町	19.7	38	五所川原市	96.1	35
38	佐井村	0.109	38	東通村	20.2	37	黒石市	96.6	38
39	風間浦村	0.096	39	黒石市	22.5	40	むつ市	96.7	37
40	西目屋村	0.087	40	大鰐町	23.8	39	大間町	99.9	39

財政力指数とは？

市町村のふところ具合を表すもので「1」を超える場合には、国からの援助(普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振りするもの)が無くなります。また、数字が大きいほど余裕があることとなります。

実質公債費比率とは？

市町村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので、率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

経常収支比率とは？

人件費や公債費、扶助費(福祉施設の入所に伴う費用など)など、毎年必要になる支出で、容易に切り詰めることが難しいものの割合のことです。指数が低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということとなります。